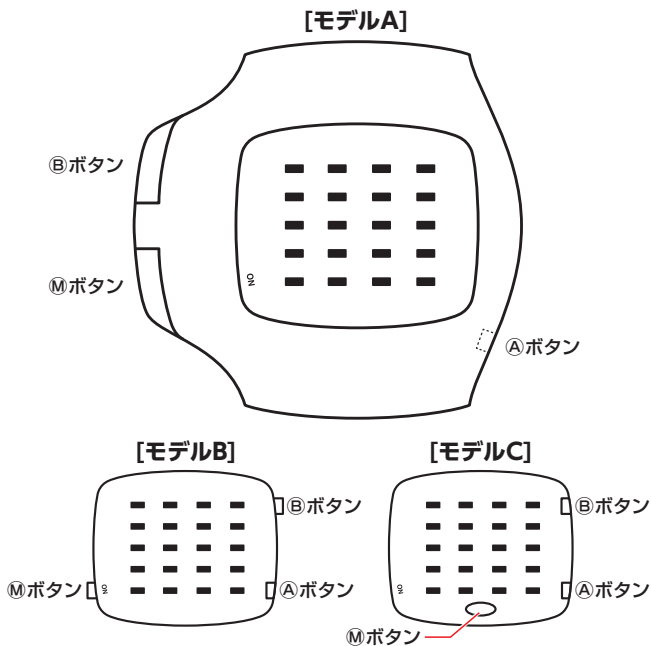


# D410 簡易操作ガイド

## 各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

## 表示を切り替える

「時刻表示」、「カレンダー表示」、「グラフィック表示」、「消灯状態」の4つの表示を切り替えます。

・この時計では、消灯状態が通常表示状態です。一定の時間が経過すると、他の表示状態から自動的に消灯状態に戻ります。

### 1. M ボタンを押す

- ボタンを押すごとに、「消灯状態」→「時刻表示」→「カレンダー表示」の順に表示が切り替わります。
- 「時刻表示」、「カレンダー表示」でボタン操作を行わないと、自動的にグラフィック表示→消灯状態へと移行します。
- 消灯状態でBボタンを押すと、約3秒間グラフィック表示になります。表示中に再度Bボタンを押すと、消灯状態になります。

## ドット表示の読み方

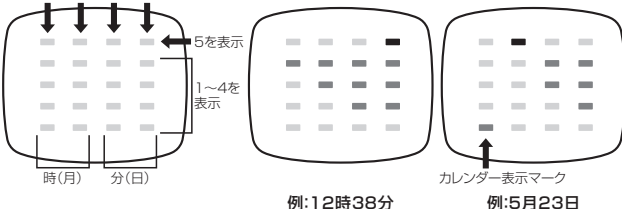
ドットの色、数、位置で以下のように数値を読みます。

各数字の表示方法

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

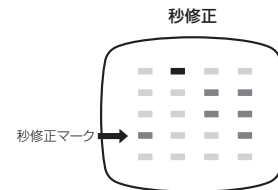
LEDの配置と表示内容

10の桁 10の桁 10の桁 10の桁



## 時刻とカレンダーを合わせる

- 「時刻」または「カレンダー」を表示しているときに、Aボタンを2秒間以上押し続ける  
秒マークが点滅し、修正できるようになります。
- Mボタンを押して「秒」を合わせる  
・Mボタンを押すと、「秒」が「00」に修正されます。30秒～59秒のときにMボタンを押すと、「分」が1分桁上げされます。



- Bボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ  
Bボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。  
秒→分→時→月→日→年
- Mボタンを押して、合わせる  
Mボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- 手順3、4をくり返し、他の対象を合わせる
- Bボタンを押して、終了する  
・修正中Aボタンを押すと、時刻表示に戻ります。  
・時刻は24時間制表示です。  
・「秒」と「年」は修正時のみ表示されます。「年」の設定範囲は2080年までです。(西暦下2桁で表示)

## オールリセットを行う

- A、B、Mボタンを同時に4秒間以上押す  
すべてのセグメントが点灯します。
- A、B、Mボタンのうちの1つを押す  
「24:00」と表示され、その後グラフィック表示に変わりオールリセットが完了します。

## オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせを行ってください。